ロートは、ハートだ。

ROHTO

CORPORATE PROFILE

コーポレート・スローガン

ロートは、ハートだ。

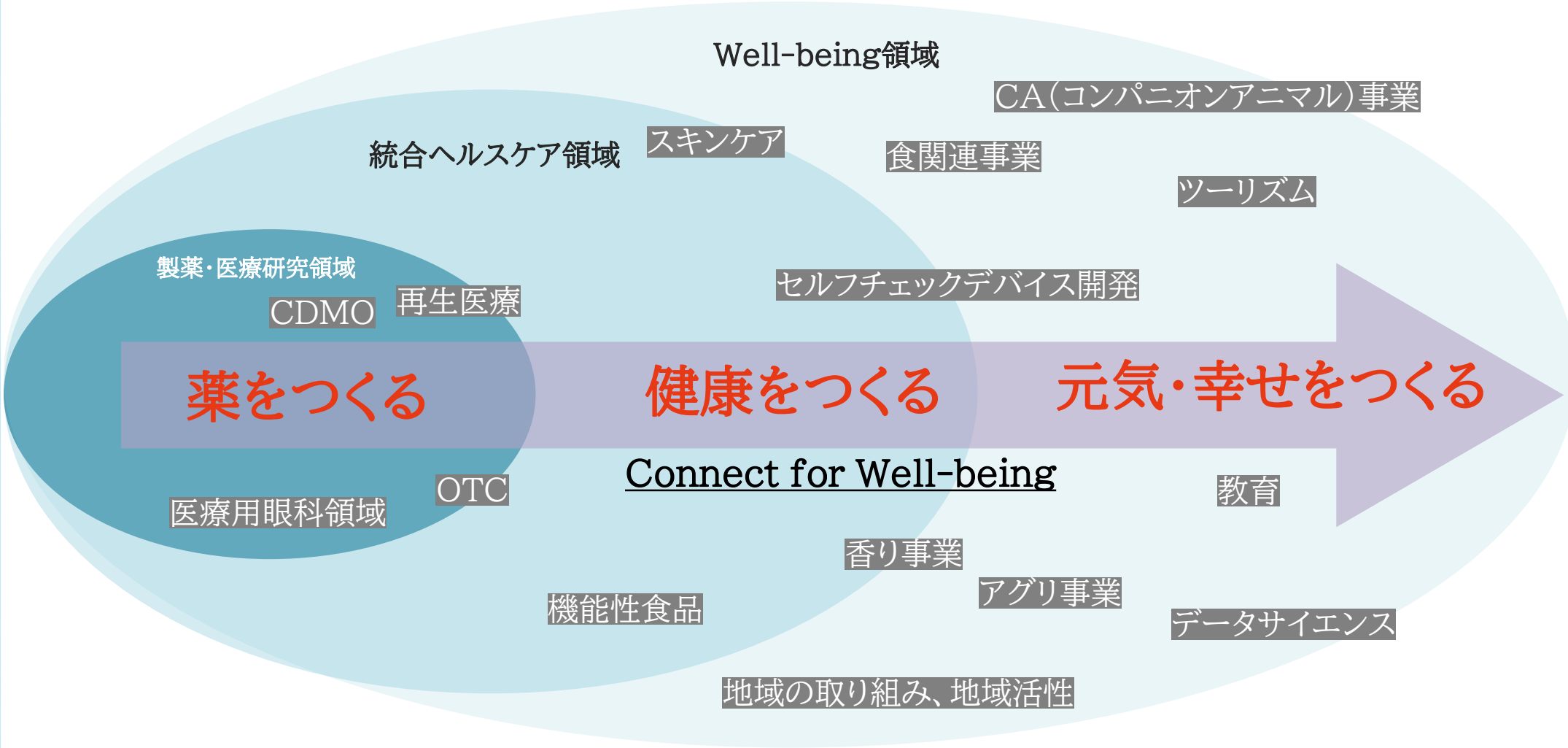
ROHTO

**社員一人ひとりが使命感を持っていきいきと働けること。
そして、そんな一人ひとりの情熱で、お客さまの心を動かし、
社会をより良い方向へと進めていくこと。**

ロート製薬の歴史は、社員一人ひとりが想いをもって取り組んだ数々の
チャレンジによって作られてきました。これからの社会は自動化・効率化に
伴い、「人間にしかできないこと」が問われる時代になると考えています。
これからも一人ひとりがより良い社会を作っていくために、
一層大切にしていきたい価値観を表現しています。

ROHTO

人を、社会を、明日の世界を元気にする



創業から受け継がれるDNA

1899年創業：胃腸薬「胃活」の発売

明治維新以降、食の欧米化により胃病患者が急増し、胃病で早死にする人も。

万病の元は「胃」にあり。効き目のある胃腸薬の発売こそこれからの日本に必要

1909年：点眼薬「ロート目薬」発売

伝染性慢性結膜炎「トラホーム」流行。失明にもつながる危機に。

ドイツのロートムンド博士に開発協力してもらい、当時の最新処方を採用。
当時珍しいカタカナの商品名でより多くの方へ

1985年：妊娠検査薬「チェッカー」、1993年「ドゥーテスト」発売

医療機関でしか妊娠確認できない時代、妊娠に気づかず
体に負荷をかけてしまい、流産することも少なくなかった。

母体と子供の健康を守るため、早期に妊娠に気づくことが重要

社会やお客様の変化を背景に、これまでの常識を打ち破るなかで事業を柱に

ROHTO

会社概要

社 名	ロート製薬株式会社 ROHTO Pharmaceutical Co. Ltd.
創 業	1899年(明治32年)2月22日
設 立	1949年(昭和24年)9月15日
資本金	6,504百万円(2024年3月期現在)
売上高	128,937百万円＜単体＞ 270,840百万円＜連結＞(2024年3月期現在)
従業員数	1,687名＜単体＞ 7,259名＜連結＞(2024年3月期現在)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(プライム市場)
主な事業内容	医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売

拠 点

大阪・東京・札幌・仙台
関東・名古屋・広島・福岡

工場・研究所

大阪工場・研究所(大阪府大阪市)
上野テクノセンター(三重県伊賀市)
ロートリサーチビレッジ京都
(京都府木津川市)

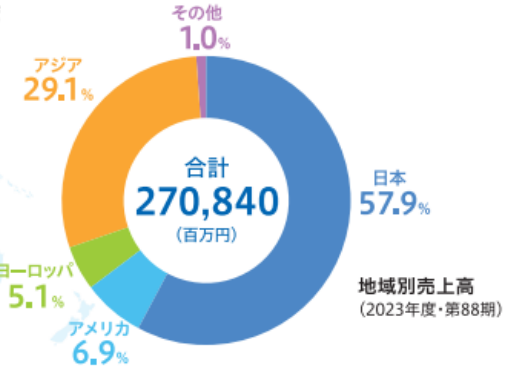
グローバル展開・営業概況

世界に広がる「ロートグループ」

ロートグループ（2024年3月現在）

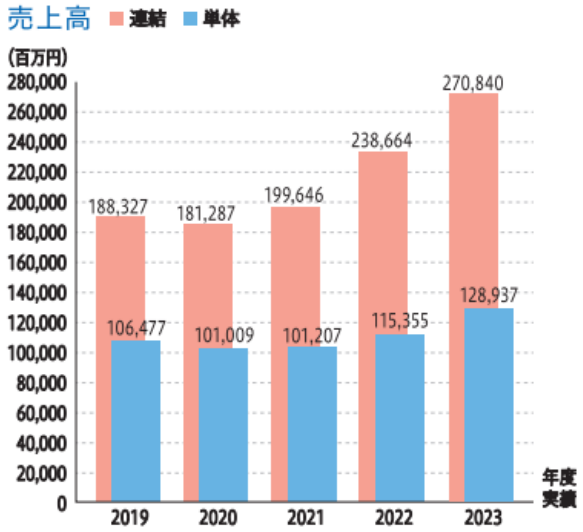
- ロート製薬株式会社
  - 大阪本社
  - グランフロント大阪オフィス
  - 東京支社
  - 名古屋支店
  - 福岡支店
  - 札幌支店
  - 仙台支店
  - 広島支店
  - 関東支店
  - 上野テクノセンター
  - ロートリサーチビレッジ京都
  - ロートUSA
    - メンソレータム社
      - メンソレータム社・イギリス
      - メンソレータム社・アジアパシフィック ― メンソレータム社・中国
      - メンソレータム社・台湾
      - その他
  - ロート・インドネシア社
  - ロート・メンソレータム・ベトナム社
  - 天津ロート社
  - クオリテックファーマ株式会社（日本）
  - ロートニッテン株式会社（日本）
  - 天藤製薬株式会社（日本）
  - その他

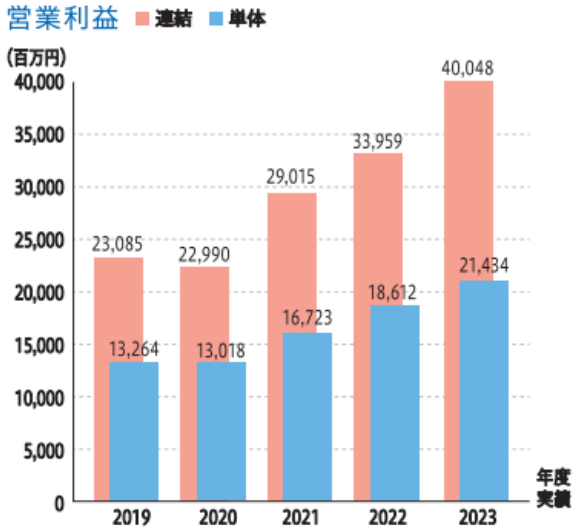
※当社および連結子会社は47社になります



地域別売上高
（2023年度・第88期）

営業概況（2023年度・第88期）

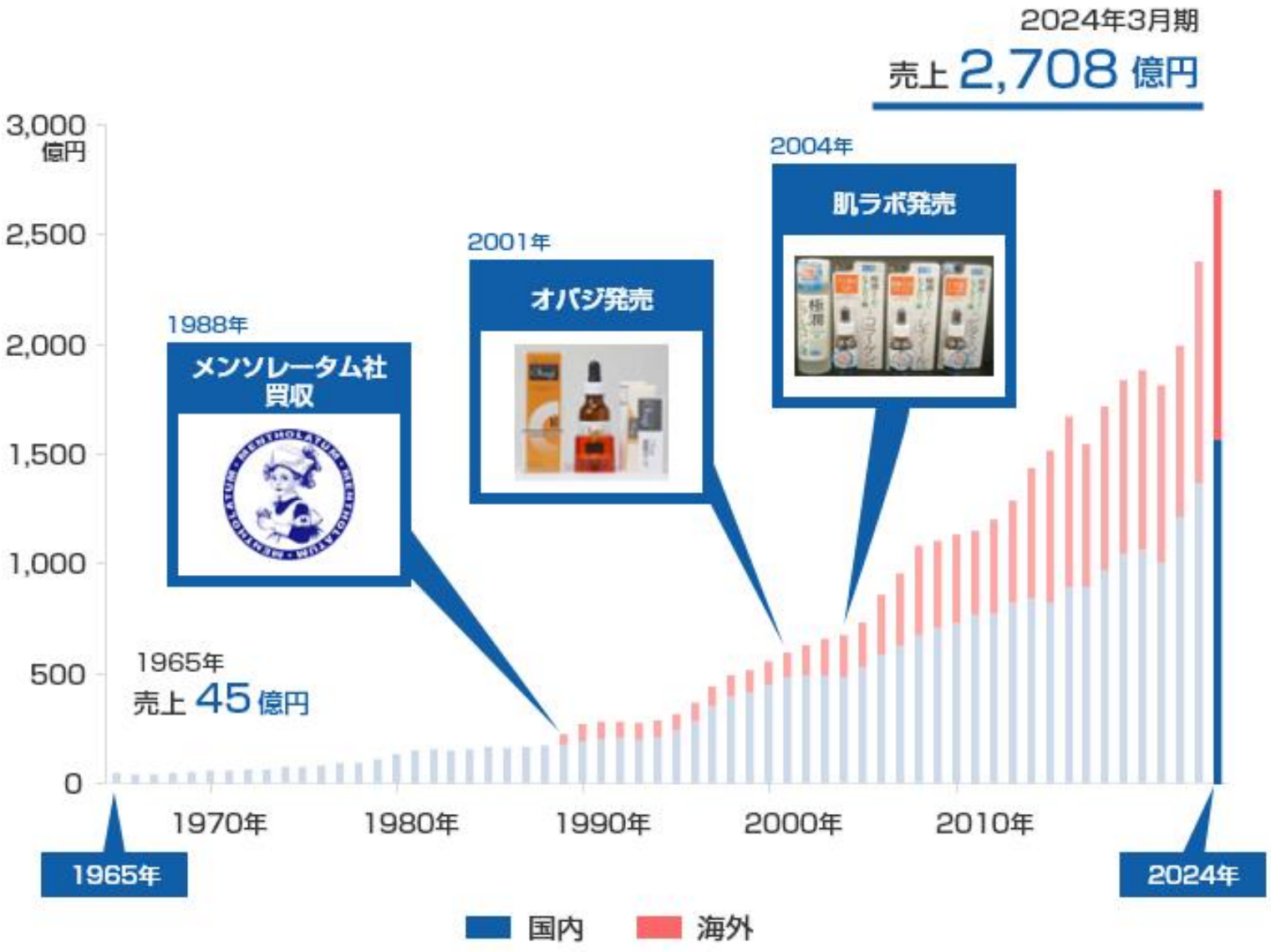




こちらから
詳細も
ご覧いただけます

ROHTO

グローバルに広がるロートグループ



グループ経営ビジョン2030

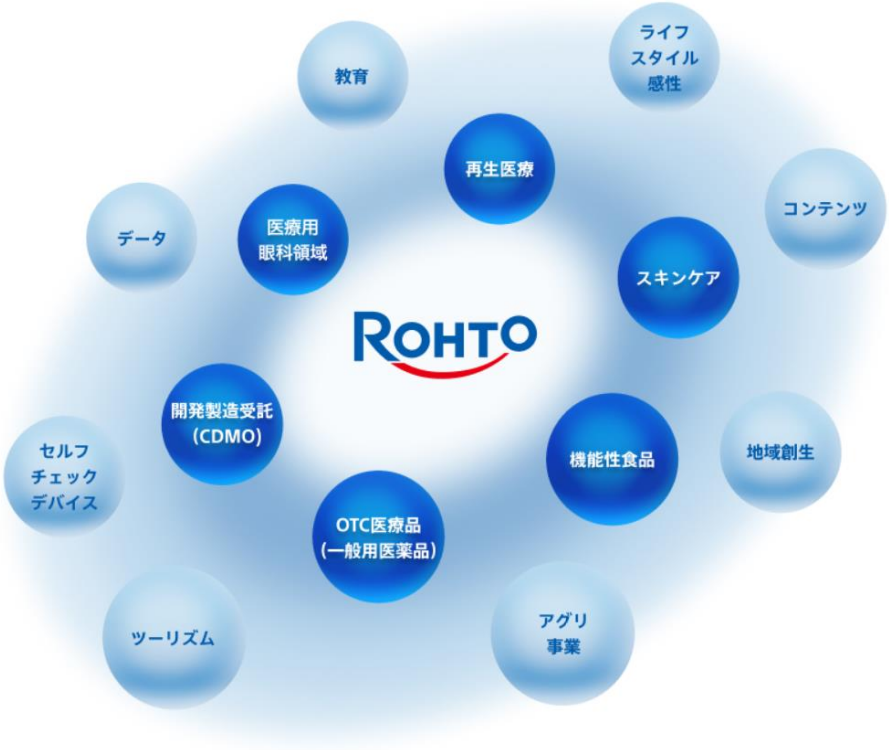
Connect for Well-being

Well-beingとは身体も心もイキイキとし、
さまざまなライフステージにおいて笑顔あふれる毎日を過ごすこと

ロート製薬は、世界の人々が Well-being を実感できる時間が
少しでも長くなるように、
医薬品、スキンケアに加え、さまざまな事業で
イノベーションを起こし幅広く「つなげていく」

それを実現するために、社内外の仲間同士を、組織と組織を
しっかり「つなげていく」

そして、信頼の連鎖の上に人材を育成し、
一体感ある組織を作り上げ
人々の更なる Well-being に「つなげていく」。

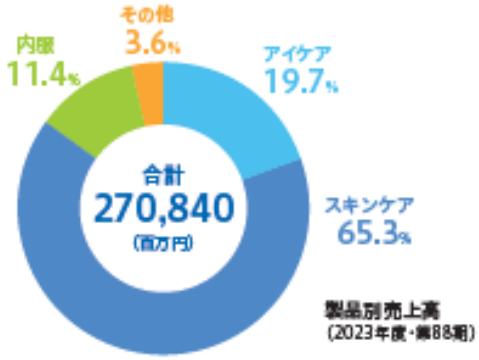


6つの注力領域だけでなく、さらに新しい事業を
人や事業・会社がつながり、生み出していく

コア事業

OTC医薬品

幅広いお客様の悩みによりそいながら、
研究に基づき、アイケア・外皮薬・内服薬・検査薬など
幅広いラインナップを。



スキンケア

製薬会社ならではの基礎研究・基幹技術や
再生医療研究の知見を応用し、安全性・有効性・メカニズムを追求する
エビデンスベースの研究開発により、他社ではできない機能性製品を。

機能性食品

健康から病気に向かう段階の未病・予防。
グループ会社や提携会社で保有する素材なども活用した製品を。

OTC医薬品・スキンケア　24年度新商品

24SS

24AW

治らない病気への挑戦

再生医療

2013年　再生医療に着手

2017年　自動培養装置を開発

2017年　肝硬変患者を対象とした治験開始

2020年　COVID-19重症肺炎を対象とした治験開始

2021年　インターステム社を子会社とし、整形外科領域を強化

2022年　再生医療等製品の開発・製造受託（CMO/CDMO）
　　サービス開始

2023年　次世代医療・研究拠点
　　「藤田医科大学東京先端医療研究センター」へ参画

2024年　第23回日本再生医療学会総会
　　「再生医療イノベーションAward」受賞

2024年　「Nakanoshima Qross（未来医療国際拠点）」にラボ・オフィスを開設

2024年　オリジナル完全AOF培地「R:STEM」が国内でFIRMマーク　認証第一号を取得

ROHTO

プロフェッショナル領域への挑戦

医療用眼科領域

長年、OTC医薬品を製造するなかで培った技術力を活かし、グループの会社やパートナー企業と連携。

開発製造受託（CDMO）

医薬品製造受託（CMO）事業から進化。
独自の開発力を活かした低分子分野製品の開発・製造をワンストップに提供。
グループ会社のネットワークとも連携し、高い技術力とコスト競争力を目指す。

6つの事業領域外でも広がる新規事業

香りのクリエイティブラボ「BÉLAIR LAB（ベレアラボ）」

専属調香師によるフレグランス開発と科学的研究が一体となった、香りに特化したオープンイノベーションラボ。スポーツチームやオフィス等への導入により、空間の香り開発と研究を実施。
香りで感性を刺激し、一人ひとりの気持ちや活動をサポートしている。

伴侶動物の健康をもサポートする「コンパニオンアニマル事業」

人々の生活環境の変化に伴い、存在意義や価値、役割も大きく変わっているコンパニオンアニマル。これまで培ってきた研究力やネットワークを応用し、時にパートナーとの連携でCAの健康をサポートを行う。

ROHTO

健康は食から。ロートならではの挑戦

やえやまファーム（沖縄県石垣市）

自社農場で作ったパイナップルをジュースにする際に
出る搾りかすを豚の飼料に。豚や牛の糞尿は農地の堆肥へ。
堆肥がよい土壌を作り、農作物を育てる、
“ファームの外から何も持ち込まない、何も捨てない”循環型農業を目指す。

はじまり屋（奈良県宇陀市）

創業者の出生地にて、農薬や化成肥料を使わない循環型有機農業に挑戦。
（2020年8月有機JAS認定取得）
手間はかかりながらはるかに少ない生産資材で、
品質が優れた農作物をつくる。

ロートレシピ（大阪府大阪市）

「おなかの底から元気になれる」をコンセプトに、おいしく、健康的で、
サステナブルな食事をご提案。飲食エリア（カフェ＆レストラン）、
物販エリア（マーケット）を起点に人々が集い、食事や会話を楽しんで
いただける複合施設です。

50年以上続くロート流健康経営

1970年頃　始業前に朝の体操を開始

1980年頃　全社員による運動会を開始

2002年　全社員対象で体力測定を開始

2004年　社員の福利厚生施設「スマートキャンプ」開設

2014年　最高健康責任者（CHO）設置

2016年　健康経営推進グループ　設置
婦人科健診無料化

2018年　健康経営宣言
血清フェリチン検査・風疹ワクチン無料化
卒煙プロジェクト発足

2019年　健康社内通貨「ARUCO」スタート

2020年　喫煙をしていない従業員99.9%に到達

2021年　2023年に向けた新健康KPIを設定

2022年　「ロートグループ健康保険組合」設立

ARUCO

ロートグループ健康保険組合
ROHTO GROUP Health Insurance Society

2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

SPORTS YELL COMPANY 2024+

ROHTO

ロートらしい働き方は風土づくりから

●性別・年齢・役職など関係なく提案や議論ができる風通しの良い文化や風土へ
・ロートネーム

●手挙げ制にて年次問わずチャレンジの機会
・ARK（明日のロートを考える）プロジェクト
・社内行事・イベント運営事務局
・ランクアップ（昇給昇格）
・社内ダブルジョブ（兼任）

●組織の枠を超えて活躍できる人財育成
・社外チャレンジワーク（複業）

●多様な人を活かした組織づくり
・研究開発職では外国籍メンバーも活躍
・キャリア採用者は約半数に

ARKプロジェクト

「明日の世界をつくるために、ロートができることは何か？」その時々の経営課題に対し、部門や世代を超えた有志社員が考えるプロジェクト。

【これまで検討されてきたテーマ】

環境アクション	社是制定	社会貢献
健康取り組み	社内文化	働き方

など

ROHTO

個の主体性を軸としたWell-being経営

2016年～

社外チャレンジワーク（複業）

本業は大切にしながらも、兼業という形で多様な働き方を認め、一人ひとりが社会に貢献するする制度。これまでにのべ165名の社員が活動。（2024年3月時点）

2016年～

ARKにて
社員の発案！

社内ダブルジョブ（兼務）

就業時間の一部を、部門の枠を超えて、他部署でも従事する制度。現在、192名の社員が兼務。（2024年3月時点）

2020年～

社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」

複業実践者の発案！

社会課題に向き合い“個”の想いとアイデアをもとに起業する社員の支援を行う社外チャレンジワーク実践者発のプロジェクト。事業を興す経験を通じて自律・自走する人を後押しし、会社の枠に捉われないマルチジョブな働き方を推進。すでに8社が設立。（2024年3月時点）

明日ニハ
asuniwa

ROHTO

次世代を支える社会貢献活動

2004年～

かるがも基金

社員のアイデアより設立した、社員の給与天引き＋会社から同額マッチアップによって、社会福祉などに取り組む団体へ寄付を行う取り組み。現在も有志社員による事務局を中心に活動中。

2011年～

みちのく未来基金

カルビー・カゴメと共設立した東日本大震災で親を亡くした子ども達の奨学基金。震災当時、お腹のなかにいた子どもが卒業するまで約25年間活動を約束。

2021年～

ロートこどもみらい財団

一人ひとりの個性を尊重した未来社会を実現すべく、自分らしく探究しようとする心の“眼の芽”を育てる目的で設立。自らの個性を見つめ、発見・探究し続けられる“居場所”を提供することによって、不透明な未来社会を生きる子どもたちが自分の進むべき道を見据え、本来の力を信じ挑戦しつづけられる社会を目指す。

2024年～

ロート子どもの夢基金

NPO法人ピースウィンズ・ジャパンと連携し、子どもをめぐる社会課題の解決・改善に向けて活動する団体を支援。日本の未来を担うすべての子どもたちが、環境や経済状況に関わらず、夢や希望を持てる社会の実現を目指す。